

Ticket

前売券は、チケットぴあにて8/18[土]より発売!

各上映の2日前まで販売 [Pコード:558-835]

今年は学生当日券が¥500!

*前売券完売の場合も、当日券は一定数確保します。

コンペティション部門「PFFアワード2018」	自由席	当日券	
		前売券	一般/シニア
自由席	販売なし	¥800	¥500
指定席	販売なし	¥1,300	
指定席	販売なし	¥1,000	

★前売券を買っておく3つのメリット

- 1 当日並ばずに、席が確保できる!**
⇒当日券は各回上映の30分前からの販売ですが、あらかじめ前売券を買っておけば、確実に席が確保できます。
- 2 万が一遅れてしまっても、入場できる!**
⇒国立映画アーカイブは、開映すると当日券の販売を終了し、購入することが出来なくなります。ただし、前売券を持っていれば、特別に途中入場することが出来ます。
- 3 チケットぴあのお店、またはサイトで購入すれば、お好きな席が選べる!**
⇒セブン-イレブンでの購入、および当日券の購入の際は、座席指定できません。

会場アクセス▶銀座線「京橋駅」2番出口より昭和通り方向へ徒歩1分▶浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分▶有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分▶JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

(チケット購入方法)

- 前売券** 販売期間: 上映の2日前まで
- ① チケットぴあのお店、セブン-イレブンで購入**
⇒発売手数料:108円がかかります。セブン-イレブンでの座席の指定はできません。
 - ② チケットぴあのサイトで購入 (pia.jp/t/pff/)**
⇒システム利用料:216円、発売手数料:108円がかかります。
- *前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

- 当日券** *前売券完売の場合も、当日券は一定数確保します。販売期間: 各回上映の30分前~開映まで
- ① 国立映画アーカイブ 1Fのチケット売場で購入**

*定員に達し次第、販売を終了します。座席の指定はできません。
*各回1名につき1枚しか購入できませんので、ご注意ください。
*学生、国立映画アーカイブ及び東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズ、障害者の方は証明できるものをご提示ください。障害者介添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。
*当日券の情報は、各上映の前日に国立映画アーカイブのホームページで確認することができます。 www.nfaj.go.jp
*当日券購入時、ぴあカードをご提示いただくと、当日一般/シニア料金よりそれぞれ100円割引します。

(会場)

 **国立映画アーカイブ**
National Film Archive of Japan



主催 PFF 一般社団法人PFF 国立映画アーカイブ National Film Archive of Japan 公益財団法人 川喜多記念映画文化財団 UNI JAPAN 公益財団法人ユニジャパン

オフィシャルパートナー ぴあ ホリプロ NIKKATSU

特別支援 一般社団法人 日本映画製作者連盟

オフィシャルTOPサポーター dentsu Hakuholdo DY media partners

オフィシャルサポーター スカパー! 一信用と創造一 住友不動産 SEGASammy セブン&アイHLDS. FUJITSU

特別協賛 朝日新聞 IJ Internet Initiative Japan NTTぷらら TOKYO FM GAGA KLOCK WORK KDDI

協賛 FamilyMart 三井住友VISAカード MUFG 三菱UFJニコス LIL Systems, Inc. FMBQ2 CONCENT SUNDAY FOLK PROMOTION Ustream シネマトゥデイ SPACE SHOWER CINEMORE DISK GARAGE tv asahi TV TOKYO TOHAN NEC ニッポン放送 日本映画専門チャンネル パナソニック映像株式会社 SANDO 文化放送 PONYCANYON INC. ROBOT W.Q.W.Q.W. CoFesta

後援 アテネ・フランセ文化事業(株) / (株)伊藤園 / (株)IMAGICA / エイベックス・ピクチャーズ(株) / キングレコード(株) / クエストルーム(株) / (有)スタンス・カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / (株)パップ / (株)パラダイス・カフェ / (株)PIVOT / (有)プレス / (株)マンハッタンピープル

後援 NPO法人映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合日本映画監督協会

[コンペティション部門] PFF Award 2018

PFF 検索

今年は、映画祭初日9/8[土]から同時配信します! aoyama-theater.jp/feature/pff



映画配給会社ギャガが運営する、動画配信サイト「青山シアター」にて、PFFアワード2018入選作品を配信します。

映画は、ある個人の「映画をつくらう」という想いで始まります。自主映画です。このコンペティションに本年529本の自主映画が集いました。18本の入選作品に授与される各賞のうち「観客賞」を投票できるのは、あなたです。

※上映後、来場監督を迎えるトークあり。

PFFアワード2018各賞
 グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、
 審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、映画ファン賞(ぴあニスト賞)
 エンタテインメント賞(ホリプロ賞)、ジュムストーン賞(日活賞)
 観客賞、特別設置:ひかりTV賞

9/21[金]&9/22[土] 受賞作品を上映!

A PFF Award 2018 9/ 8 [土] 11:00~ 9/14 [金] 16:00~

『Good bye, Eric!』 18分
 監督:高階 匠 たかしな・たくみ
真の友情に別れの言葉はいらない。さよなら、最愛の友よ
 親友エリックとの別れの日。宮田は災難続きで待ち合わせ場所に辿り着けない。だが、そのトラブルがエリックとの思い出を脳裏に甦らす。喜劇仕立てながら実は王道の男の友情劇。珍道中の先に感動のフィナーレが待つ!

『一文字拳 序章 -最強カンフー少年対地獄の殺人空手使い-』 66分
 監督:中元 雄 なかもと・ゆう
火傷も生傷も上等! 体を張った本気アクションを見よ
 最強の武術家を目指す一文字ユウタが見参。無敵の改造人間に挑む! アクション×スプラッター×80年代青春ドラマが融合。最後はお約束。NGテイクのおまけつきのマジでガチなアクション・エンターテインメントがここに。

C PFF Award 2018 9/ 9 [日] 14:30~ 9/13 [木] 16:00~

『ある日本の絵描き少年』 20分
 監督:川尻将由 かわじり・まさなお
夢を諦めないすべての人へ! 一枚の絵が人生を変える
 漫画家になる夢を諦めかけた時、シンジがふと目にした幼なじみのマサルくんの絵。それが彼に勇気を与える! アートの力を信じ続けるクリエイターと、夢を諦めないすべての人への賛歌が込められた感動のアニメーション。

『オーファズ・ブルース』 89分
 監督:工藤梨穂 くどう・りほ
思い出を忘却する前に少女は大切な友の姿を追い求める
 記憶が欠落する病を抱えるエマは行方不明の幼なじみのヤンを友人らと探しに。その存在と大事な思い出が消える前に彼女の再会の願いは叶うのか? 失われゆく記憶に嘆き苦しむ少女の切なる叫びが聴こえるロードムービー。

PFF Award 2018 9/11 [火] 12:30~ 9/15 [土] 17:15~

『からっぽ』 52分
 監督:野村奈央 のむら・なお
取り柄のない平凡な私という存在の耐え難いやらせなさ
 いくつものアルバイトを首尾よくこなすが、自身の凡庸さを自覚するまちは、我が道をいく画家と出会い、痛感する。私は“からっぽ”と。存在意義を見い出せない人間の苦しみを伝える一方で、それを優しく肯定する現代劇。

『愛讃讃』 8分
 監督:池添 俊 いけぞえ・しゅん
忘れられないあの人の言葉が何度もリフレインする
 地元へ帰省した27歳の男の記憶にふと甦る美しい継母の姿。母と呼べず、お姉ちゃんと呼んでいた彼女の言葉と姿が何度も想い出される。デジタル映像と期限切れの8ミリフィルムに刻印された元義母との追憶メモリー。

『シアノス』 40分
 監督:松本 剛 まつもと・つよし
失踪した少女の最後の目撃者となった少年に何が宿る
 平穏な片田舎に緊張が走る少女失踪事件が発生。自分の作り方な不思議な動画をサイトにアップしていた彼女を最後に目撃した少年の身に異変が起こる。多感な思春期にいる少年の心に何が宿り、乱れていくミステリー。

PFF Award 2018 9/12 [水] 12:30~ 9/16 [日] 18:00~

『シャジャシャ』 31分
 監督:亀井史興 かめい・ふみおき
彼女との関係にピリオドを打った男の切ない心模様
 彼女との別れを決めた亀ちゃん。友との語らいと独り身のお気楽さは、それを一瞬忘れさせてくれる。でも、どこか気分は晴れない。失って気づくパートナーの存在の大きさ。そして一人になった男の心のつづやきが切ない。

『川と自転車』 44分
 監督:池田昌平 いけだ・しょうへい
大胆な演出が光る3話形式のリバーサイド・ストーリー
 河川敷を散策する男女をユーモアたっぷりに描く3話のショート・ストーリー。クロスアップと説明過多な作品が多数を占める映画の現状に抗うがごとく、ロングショットの多用とセリフを排した大胆不敵な演出が心憎い。

『最期の星』 27分
 監督:小川紗良 おがわ・さら
女優としても活躍中の気鋭監督が綴る私から亡き人へ
 誰も会ったことがない現在病中のさっちゃん。学校に居場所のない琴子が彼女へ抱く妄想はいつしか現実に。女優の顔も持つ新進監督が自身の体験から綴った、一度も時を共有できなかった今は亡き「あなた」への想い。

B PFF Award 2018 9/ 8 [土] 14:30~ 9/13 [木] 12:30~

『カルチェ』 70分
 監督:植木咲楽 うえき・さくら
人間の生(出会い)と死(別れ)を見つめる近未来SF
 近未来、トウキョウ3区のプールから誕生する純粹無垢な生命体。人間に育てられた彼らはどこへ還るのか? 異国の設定で、人間の生と死から輪廻転生まで感じさせるSF。実力派、木村知貴と兵藤公美の演技も味わい深い。

『貴美子のまち』 37分
 監督:芦澤麻有子 あしざわ・まゆこ
パート主婦の貴美子、シンガポールで脱日常の冒険へ
 せっかくなった食事に手を付けられない日が多くなった夫と娘に不満を抱く貴美子は、友人とシンガポールへ。平凡な主婦から突如飛び出す脱日本&脱日常宣言。異国の地での不思議体験のうちに家族の食卓に変化をもたらす!

D PFF Award 2018 9/ 9 [日] 18:00~ 9/14 [金] 12:30~

『わたの原』 51分
 監督:藤原芽生 ふじわら・めい
仕事に人間関係に疲れた現代ヒロインの心のリセット
 富士山の麓にある田舎の母の実家でしばらく過ごすことにした螢。今は誰も住んでない家の庭の手入れを無心しながら、彼女は最近、自分に起きた出来事を振り返る。会社での人間関係に疲れた現代女性の心の再生物語。

『すばらしき世界』 41分
 監督:石井達也 いしい・たつや
大人の事情に翻弄され続けた16歳少年の叫び届け!
 16歳の優は母と二人暮らし。しかし、そこに再婚を決めた父が強引に介入し、彼の心は再び深い闇に覆われる。大人の勝手な都合に翻弄される子どもの傷心と怒り。それは監督が実体験した苦しみと悲しみの告白でもある。

PFF Award 2018 9/11 [火] 16:00~ 9/16 [日] 11:45~

『山河の子』 57分
 監督:胡旭彤 こ・きよくどう
中国の片隅で懸命に生きる子どもたちから世界の人々へ
 都会から遠く離れた中国の農村部。そこで監督が目の当たりにしたのどかな風景に隠された村の厳しい現実とは? それでも前を向く子どもたちがふと漏らす切なる願い。その想いは世界の片隅で生きる誰かと重なる。きっと。

『19歳』 28分
 監督:道本咲希 みちもと・さき
自分語りと自己分析から浮かびあがる19歳女子の肖像
 20歳を前に大人になる自信がない咲希が、自らの不安な心情をカメラの前で包み隠さず吐露。フィクションとノンフィクションの狭間を往来するような自分語りと客観的な自己分析で、19歳女子のリアルな肖像を写す。

PFF Award 2018 9/12 [水] 16:00~ 9/15 [土] 11:00~

『モフモフィクション』 7分
 監督:今津良樹 いまづ・よしき
癒しが現実逃避か? 人気キャラ、モフモフ動物出現!
 そのキュートなルックスとふわふわの触り心地で人気を呼ぶモフモフ動物。この動物キャラクターは人びとの癒しか、それとも……。愛されキャラの紹介の先に現実逃避社会への皮肉も読み取れるシュール・アニメーション。

『小さな声で囁いて』 110分
 監督:山本 英 やまもと・あきら
うまく将来像を描けない若いカップルの「アイ」の行方
 結婚を考え始めた遠くに対し、乗り気じゃない沙良。互いの溝を埋めようとした3泊4日の旅行でも二人の心はすれ違えばかり。漠然とした将来への不安から未来像を描けない男と女。それぞれの「愛」と「I」が錯綜する。

Invited Works

1 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ

生誕100年のロバート・アルドリッチ監督特集です。

男の世界を描くと語られがちなのですが、女を描く作品も多いのです。

そしてオープニングシーンの見事さに始まる、ときめくセンスとガッツをたっぷり堪能してください。[全作品日本語字幕上映]

※9/8[土]18:00~の『キスで殺せ』

上映後に黒沢 清監督が登場。

アルドリッチの魅力について語ります。



『ビッグ・リーガー』

Big Leaver
1953年/白黒/71分/デジタル

🕒 9/ 8 [土] 10:30 ~ 小ホール
9/18 [火] 17:00 ~

大リーグでの活躍を夢見て競う若者たちと家族とスカウト。助監督やテレビ映画で腕を磨き、34歳にして監督デビューを果たした初々しい一作。野球映画でキャリアを始め、遺作はレスリング映画という偶然に涙。

Images courtesy of Park Circus/MGM Studios



『キスで殺せ』

Kiss Me Deadly
1955年/白黒/105分/デジタル

🕒 9/ 8 [土] 18:00 ~
9/19 [水] 13:00 ~

ミッキー・スピレインの生んだ探偵マイク・ハマーを独自の解釈で改変したノワールの傑作。アルドリッチ作品の中で、音と画の効果を最大限に生かす突出したカルトとなり、後世の映画に与えた影響は計り知れない。

Images courtesy of Park Circus/MGM Studios



『悪徳』

The Big Knife
1955年/白黒/111分/デジタル

🕒 9/11 [火] 19:00 ~
9/18 [火] 19:00 ~

『攻撃』『地獄で秒読み』にも主演するジャック・パランスはじめ俳優たちの、憑依したような熟演に圧倒されるショービジネスのまさかの内幕。舞台劇を基にしたほげ屋内で進む物語が尚更緊張と痛切さを高め結末が迫る。

Images courtesy of Park Circus/MGM Studios



『枯葉』

Autumn Leaves
1956年/白黒/107分/デジタル

🕒 9/14 [金] 19:00 ~
9/19 [水] 19:00 ~

ずっとファンだったというジョン・クロフォードを迎えて挑戦する初の女性映画は、年下の男性のプロポーズに揺れるタイピストが、思いもよぬ状況に遭遇し変化する、先の読めないスリリングな、“今”すぎる傑作。

©1956 Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.



『攻撃』

Attack
1956年/白黒/107分/デジタル

🕒 9/12 [水] 19:00 ~
9/22 [土] 11:00 ~

無能で卑劣な上官のために犬死にしていく兵士たち。かつてない痛烈な反戦映画故に米陸軍は撮影協力を拒否し、ヴェネチア映画祭では米大使が抗議をする。兵士たちのそれぞれの決意が美しい。

Images courtesy of Park Circus/MGM Studios



『何がジェーンに起きたか』

What Ever Happened to Baby Jane?
1962年/白黒/132分/35mm

🕒 9/15 [土] 14:15 ~
9/18 [火] 14:00 ~

『攻撃』のあとヨーロッパで長く不遇のときを過ごした監督のハリウッドカムバック作。往年の大女優二人を「子役時代から憎みあう女優姉妹」として蘇らせ大ヒットを記録。アルドリッチの企画力に脱帽。



『ふるえて眠れ』

Hush...Hush, Sweet Charlotte
1964年/カラー/133分/デジタル

🕒 9/16 [日] 14:45 ~
9/19 [水] 15:45 ~

南部の旧家の箱入り娘は、駆け落ちの約束を破った既婚の男を殺したのか? 老いて豪邸に住まうかつての娘の幻聴と幻覚を見事な美術で描き、後のサイコホラーの礎を築く。アルドリッチの多才さに改めて唸る。

Motion Picture ©1964 Twentieth Century Fox Film Corporation and The Associates & Aldrich Company, Inc. Renewed 1992 Twentieth Century Fox Film Corporation and The Associates & Aldrich Company, Inc. All rights reserved.



『特攻大作戦』

The Dirty Dozen
1967年/カラー/149分/デジタル

🕒 9/ 9 [日] 11:00 ~
9/22 [土] 17:00 ~

極秘裏のナチス高官潰滅作戦に参加する軍刑務所の曲者たち。リー・マーヴィン率いる超豪華キャストも相まって最高の人気作に! 『フェイスズ』編集集中のジョン・カサヴェテスをキャストする友情にも涙。



『合衆国最後の日』

Twilight's Last Gleaming
1977年/カラー/143分/デジタル

🕒 9/13 [木] 19:00 ~

米軍の協力を全面拒否され独で撮影したヴェトナム戦争まっただなか制作の反戦愛国映画。ペンタゴン・ペーパーズのリークをヒントに、憂国の士、大統領、二枚舌の軍人らのスリリングな駆け引きがマルチ画面に展開される。

©1977 Geria Film GmbH



『クワイヤボーイズ』

The Choirboys
1977年/カラー/118分/35mm

🕒 9/15 [土] 18:00 ~ 小ホール
9/16 [日] 11:00 ~ 小ホール
9/21 [金] 11:00 ~

悪趣味過ぎる!と惨敗した警察群像劇。原題「少年聖歌隊のように一日の疲れを大勢で騒いで晴らす喜劇映画のはずが、組織の腐敗や硬直にからめた監督の意図が空転? だが熱烈なファンを生んだ傑作!

Robert Aldrich ●1918年、アメリカ生まれ。チャップリンやノワールの助監督を経て、企画もの『ビッグ・リーガー』(53年)で監督デビュー。『アバッチ』(54年)で注目され、原作の大胆なアレンジが光る『キスで殺せ』(55年)で衝撃を与える。念願の自身のスタジオを創設しハリウッドの内幕を描いた『悪徳』(55年)と戦争の現実を描く『攻撃』(56年)がヴェネチア国際映画祭で、メロドラマに挑んだ『枯葉』(56年)がベルリン国際映画祭で受賞。その後も気骨ある主人公を斬新な手法で描き『飛べ! フェニックス』(66年)『特攻大作戦』(67年)『女の香り』(67年)『甘い抱擁』(68年)『傷だらけの挽歌』(71年)『北国の帝王』(73年)『ロンゲスト・ヤード』(74年)など展開の読めない、時代を先取りした傑作を多数発表。83年没。遺作は闘う女たち『カリフォルニア・ドールズ』(81年)



Robert Aldrich

Images courtesy of Park Circus/Warner Bros.

PFFスペシャル講座「映画のコツ」

映画を志す人に役立つ時間を、と続ける講座シリーズです。
多彩なゲストと参考上映で多角的な映画映像のコツを伝えます。
自分の目指すものの発見に繋がる時間です。

吉田大八プレゼンツ「香川まさひとの世界」

🕒 9/9[日] 12:00～ 小ホール

1983年のPFFで『青春』をみた吉田大八青年はその衝撃から「いつかこの天才と出会いたい!」と願いつけて2009年『クヒオ大佐』で遂にその夢を叶える。本企画は、吉田監督が香川まさひと氏の類のない才能を現在の観客たちへ伝える時間となり、幻の8mm作品を再発見する時間となり、そして、漫画研究会で映画をつかった香川氏の創作の秘密を探る時間となる。当日は香川作品の主演を多く務めた気象予報士・木原 実氏もゲスト来場予定。

香川まさひとの天才を知る伝説の8mm作品
3本に加えて、なんと新作プレミア上映も実現!

対談



吉田大八 映画監督 × 香川まさひと 脚本家

参考上映作品 *デジタル化上映予定

*本プログラムは、対談の中で随時上映を行います。

『青春』1983年/カラー/4分



『バスクリナイト』

1984年/カラー/28分



『くだらない人生』

1991年/カラー/19分



原恵一と橋口亮輔が映画の神髄を探る 「天才・木下恵介は知っている:その2」

🕒 9/15[土] 12:00～ 小ホール

昨年に続き木下恵介の卓越したセンスを伝える企画第2弾が登場。なんと今年は2本立て上映! ともに楠田浩之カメラマンの実験が輝く、慕情に満ちた少女の可憐さがまぶしい『野菊の如き君なりき』と豪華キャストによる容赦のない時間描写に眼が離せない、奇跡の定点観測映画『笛吹川』。上映後の原監督と橋口監督の対談も、一層辛口で爆笑で愛に溢れた怒涛の展開になること間違いなしです!

対談



原 恵一 映画監督 × 橋口亮輔 映画監督

参考上映作品

『野菊の如き君なりき』

1955年/白黒/92分/35mm



『笛吹川』

1960年/パートカラー/123分/35mm



【ご注意ください!】本プログラムは、参考上映『野菊の如き君なりき』→『笛吹川』→原監督+橋口監督対談、と進みます。当日券の発売は、『野菊の如き君なりき』上映前の30分間(11:30~12:00)のみとなります。当日券をお求めの方はご注意ください。

TVディレクター稲垣哲也+佐々木健一による 「本当にみたいテレビ番組創作術」

🕒 9/16[日] 17:15～ 小ホール

折々に劇映画以外の創作者を紹介してきたPFF。今回はTVディレクターをお迎えします。「つくりたい作品をつくって生きていく」あらゆる媒体で模索されているその課題とどう向き合っていくか。大学映研に所属していたという稲垣ディレクターが、芸人・たけしの原点を追うドキュメンタリーを参考作品に、その企画実現を後押しした佐々木健一ディレクターと共に登壇し、創作のコツについて対談します。

対談

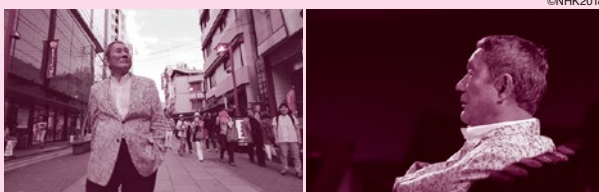


稲垣哲也 TVディレクター × 佐々木健一 TVディレクター

参考上映作品

北野武ドキュメンタリー

『たけし誕生 ~オイラの師匠と浅草~』2017年/カラー/59分



【緊急】たむらまさきを語り尽くす 追悼

小川プロダクションの伝説のカメラマンとして、黒木和雄の名カメラマンとして、ドキュメンタリーと劇映画の自在で自由な眼として、憧れの存在であり続けたたむらまさき(田村正毅)。5月の逝去の報に緊急追悼企画をおこないます。

じっくり語ろう、たむらさんのこと

Part 1

🕒 9/8[土] 12:15～ 小ホール

参考上映作品

『Helpless』

1996年/カラー/80分/35mm

監督:青山真治
出演:浅野忠信、辻 香緒里、光石 研



青山真治 映画監督 × 仙頭武則 プロデューサー

対談



Part 2

🕒 9/8[土] 15:00～ 小ホール

参考上映作品

『EUREKA』

2001年/白黒/217分/35mm

監督:青山真治
出演:役所広司、宮崎あおい、斎藤陽一郎



©2001 J-WORKS FILM INITIATIVE(電通+MAGICA+WOWOW+東京テアトル)

挑戦者たちよ! 柳町光男とたむらまさきに空族が迫る

🕒 9/9[日] 16:00～ 小ホール

たむら撮影で劇映画『さらば愛しき大地』『火まつり』、ドキュメンタリー『旅するパオジャンフー』の3傑作を生んだ柳町光男監督。その現場での試みを、柳町監督を敬愛してやまない空族の富田克也、相澤虎之助のふたりが聞く。自らカメラを回すこともある空族からの問いは、いま、映画への挑戦を続ける次世代への励ましと刺激をもたらす予感が。また『さらば愛しき大地』は根津甚八追悼でもある。

参考上映作品 完成時版上映

『さらば愛しき大地』

1982年/カラー/134分/35mm(公開時は130分版)
監督:柳町光男/出演:根津甚八、秋吉久美子、矢吹二朗



柳町光男 映画監督 × 富田克也 映画監督 × 相澤虎之助 映画監督

鼎談



山中瑤子が諏訪敦彦に聞く たむらさんのこと

🕒 9/16[日] 13:45～ 小ホール

デビュー作を共にしたことで、自身のその後の映画へのアプローチに大いなる啓示を得たという諏訪敦彦監督が、(脚本のない)デビュー映画『2/デュオ』上映後、映画についての悩み満載煩悶まったどなかの新人山中瑤子監督の質問に答えながら、たむらまさきについて、そして映画の撮影や、俳優への信頼、監督の役割、ひいては映画とは何かについて、これからの映画人に伝える時間になる予感が。

対談



諏訪敦彦 映画監督 × 山中瑤子 映画監督

参考上映作品

『2/デュオ』

1997年/カラー/90分/35mm

監督:諏訪敦彦/出演:柳 愛里、西島秀俊、渡辺真起子



田村正毅 ● 1939年生まれ、青森県出身。撮影監督。『日本解放戦線-三里塚の夏』(68年/小川紳介監督)でデビュー。劇映画では黒木和雄、柳町光男、青山真治監督らと多く組む。ほかに、相米慎二、石井聰互(岳龍)、伊丹十三、佐藤 真、林 海象監督らと、90年代は諏訪敦彦、河瀬直美、鈴木卓爾監督ら新人のデビュー作品の撮影に多く参加。75歳での監督デビュー作『ドライブイン蒲生』(14年)がある。

Masaki Tamura

第40回ぴあフィルムフェスティバル タイムテーブル

PFF

検索

当日券の販売は、上映30分前から開演時間(1本目の上映開始)までとなります。

上映がスタートすると、チケットの購入は出来ませんので、ご注意ください。

*日ごとに上映開始時間が違いますので、ご注意ください。G…ゲスト来場予定。

*開場時間はPFFアワード(自由席)は30分前、その他のプログラム(指定席)は15分前です。

*やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。

9.8 [土]	ONZU	11:00~ PFFアワード2018 『Good bye, Eric!』 『一文字拳 序章』	14:30~ PFFアワード2018 『カルチェ』 『貴美子のまち』	18:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『キッスで殺せ』 アフタートーク:黒沢 清監督
	小ホール	10:30~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『ビッグ・リーガー』	12:15~ 追悼 たむらまさきを語り尽くす じっくり語ろう、たむらさんのこと Part1 『Helpless』	15:00~ 追悼 たむらまさきを語り尽くす じっくり語ろう、たむらさんのこと Part2 『EUREKA』
9 [日]	ONZU	11:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『特攻大作戦』	14:30~ PFFアワード2018 『ある日本の絵描き少年』 『オーファンス・ブルース』	18:00~ PFFアワード2018 『わたの原』 『すばらしき世界』
	小ホール	12:00~ PFFスペシャル 講座「映画のコツ」 吉田大八プレゼン「香川まさひとの世界」 『青春』『バスクリンナイト』ほか	16:00~ 追悼 たむらまさきを語り尽くす 挑戦者たちよ! 柳町光男とたむらまさきに空族が迫る 『さらば愛しき大地』	
10 [月]	休館日			
11 [火]	ONZU	12:30~ PFFアワード2018 『からっぽ』『愛讃讃』 『シァノス』	16:00~ PFFアワード2018 『山河の子』 『19歳』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『悪徳』
	長瀬記念ホールONZU	12:30~ PFFアワード2018 『シャジャシャ』 『川と自転車』『最期の星』	16:00~ PFFアワード2018 『モフモフィクション』 『小さな声で囁いて』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『攻撃』
12 [水]	ONZU	12:30~ PFFアワード2018 『カルチェ』 『貴美子のまち』	16:00~ PFFアワード2018 『ある日本の絵描き少年』 『オーファンス・ブルース』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『合衆国最後の日』
13 [木]	ONZU	12:30~ PFFアワード2018 『わたの原』 『すばらしき世界』	16:00~ PFFアワード2018 『Good bye, Eric!』 『一文字拳 序章』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『枯葉』
15 [土]	ONZU	11:00~ PFFアワード2018 『モフモフィクション』 『小さな声で囁いて』	14:15~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『何がジェーンに起ったか』	17:15~ PFFアワード2018 『からっぽ』『愛讃讃』 『シァノス』
	小ホール	12:00~ PFFスペシャル 講座「映画のコツ」 原恵一と橋口亮輔が映画の神髄を探る「天才・木下恵介は知っている:その2」 『野菊の如き君なりき』『笛吹川』		18:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『クワイヤボーイズ』
16 [日]	ONZU	11:45~ PFFアワード2018 『山河の子』 『19歳』	14:45~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『ふるえて眠れ』	18:00~ PFFアワード2018 『シャジャシャ』 『川と自転車』『最期の星』
	小ホール	11:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『クワイヤボーイズ』	13:45~ 追悼 たむらまさきを語り尽くす 山中環子が諏訪敦彦に聞く、たむらさんのこと 『2/デュオ』	17:15~ PFFスペシャル 講座「映画のコツ」 TVディレクターによる「本館にみたいテレビ番組制作術」 『たけし誕生 ~オイラの師匠と浅草~』
17 [月・祝]	休館日			
18 [火]	ONZU	14:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『何がジェーンに起ったか』	17:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『ビッグ・リーガー』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『悪徳』
	長瀬記念ホールONZU	13:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『キッスで殺せ』	15:45~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『ふるえて眠れ』	19:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『枯葉』
20 [木]	PFFアワード2018表彰式 ※チケットの発売はありません。			
21 [金]	ONZU	11:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『クワイヤボーイズ』	13:45~ PFFアワード2018 受賞作品上映	17:00~ PFFアワード2018 受賞作品上映 (準グランプリ含む)
	長瀬記念ホールONZU	11:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『攻撃』	13:45~ PFFアワード2018 受賞作品上映 (グランプリ含む)	17:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『特攻大作戦』
22 [土]	ONZU	11:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『攻撃』	13:45~ PFFアワード2018 受賞作品上映 (グランプリ含む)	17:00~ 女も男もカッコいい! 今こそアルドリッチ 『特攻大作戦』

*9/22[土] 15:00~16:45 小ホール「NFAJアーカイブセミナー」開催

ポーンデジタル作品をいかに保存するか、芸術系大学、国立映画アーカイブの担当者がディスカッションする。(詳細はNFAJホームページで発表予定)